

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	上階延焼検証小委員会		主 査 名：吉岡英樹 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：萩原一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>独自モデルを組み込んだ新しい CFD ツールを作成し、上階延焼検証に応用させることで検証精度を高め、建築物の外壁開口部を介した上階延焼の発生に係る予測・抑制技術の向上を図る。</p> <p>・2017 年度： 上階延焼検証に有効な CFD モデルに関する情報収集及び基礎的オペレーション</p> <p>・2018 年度： 独自モデルを組み込んだ FireFOAM ツールによる可燃性外装の燃焼に係る詳細検討、及びシンポジウム「高層建築物における可燃性外装の燃えひろがりについて考える」の開催</p> <p>・2019 年度： 簡易な燃えひろがり性状予測ツールの開発、及び JISA1310 ファサード試験、ならびに FireFOAM ツールとの比較検討</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：吉岡英樹 (国総研) 幹事：中村正寿 (大成建設)、村岡宏 (大林組)、森田武 (清水建設) 委員：大宮喜文 (東京理科大学)、野秋政希 (建築研究所)、周彪 (東京大学)、西尾悠平 (東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2018 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「高層建築物における可燃性外装の燃えひろがりについて考える」(2018 年 10 月 30 日開催) 参加者数 57 名 『同名資料』
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 独自モデルを組み込んだ Fire FOAM ツールを開発し、ファサード試験における噴出火炎性状を再現した。また、同じ条件設定におけるその他モデル (例えば、FDS や、上階延焼検証法など) の計算結果との比較検討を行った。(達成度 100%) 2. 2018 年度建築学会大会においてオーガナイズドセッション「可燃性外装の燃焼を伴う火災拡大」を実施した。(達成度 100%) 3. 2017 年 6 月に発生したロンドン高層住宅火災をテーマにシンポジウムを開催し、活動レポートを建築雑誌に投稿した。(達成度 100%)
委員会活動の問題点・課題	なし

